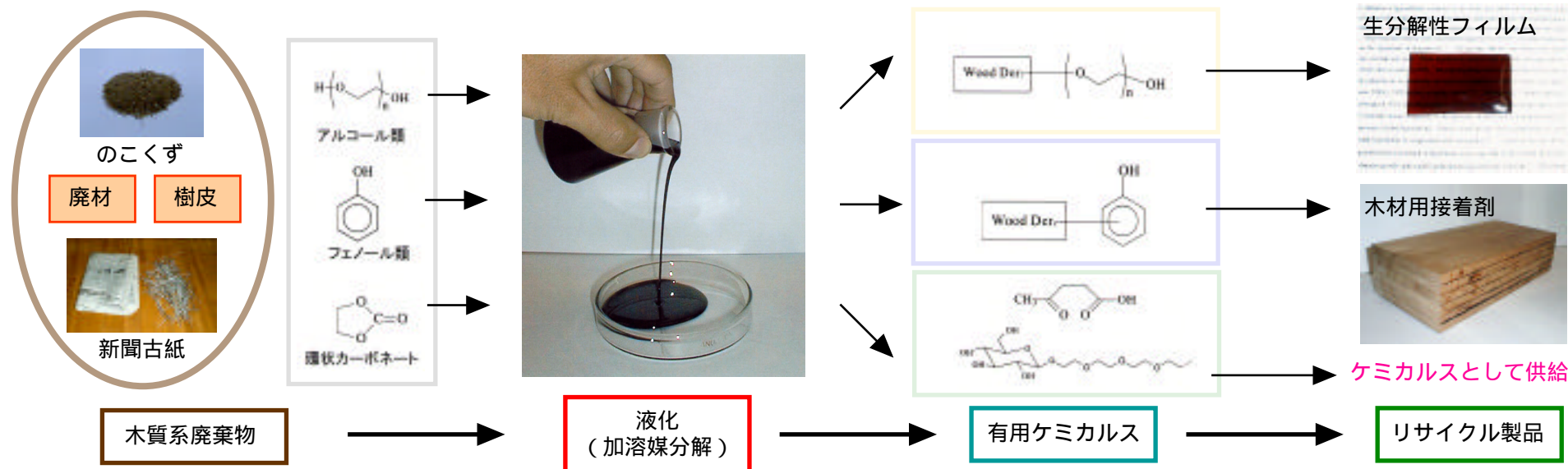


液化処理等の加溶媒分解による木質系廃棄物の再利用



木粉や古紙等の木質系破棄物は、比較的簡単な処理（液化処理：120～150℃，常圧下での酸加溶媒分解）により，液状物質に変換することができます。

液化物は全体を樹脂原料として，プラスチックや接着剤原料として再利用することができ，調製したプラスチックには環境に優しい生分解性が付与されます。

特に分解試薬に環状カーボネートを用いた場合は，木材成分を極めて短時間で強度に分解することができるので，化学工業原料となる有用ケミカルスを簡単に廃棄物から取得することができます。

この技術は木材成分の分解物を利用する技術ですので，再生ボードやパルプ原料としては再利用できないような劣悪な廃棄物にも応用できます。